



えがお
『笑顔 かがやく 鴨川小』
かもがわしょう
かもがわ

上尾市立鴨川小学校
上尾市西宮下 4-400
電話 775 - 6562
HPは「上尾市立鴨川小学校」で **検索**
発行責任者 校長 浅沼 正義
令和7年3月3日発行



令和6年度学校評価結果 ～ 次年度に活かしてまいります ～

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、令和6年度 学校評価について、ご報告いたします。

学校評価は、質の高い学校教育を目指し、児童がよりよい学校生活を送れるようにするため、毎年度、実施しております。本年度も、保護者の方や児童からのアンケート結果も参考にしながら、本校職員が行っている教育活動について、まずは自己評価し、次に、その結果を学校関係者評価委員の皆様へ、自己評価が妥当であるか、審議・評価していただきました。

今回の評価をもとに、1年間の教育活動を振り返り、課題を明らかにし、今後も学校運営の改善による教育水準の向上を図り、児童のよりよい学びを享受できるよう努めてまいります。

1 成果

- (1) 自己評価では、41項目中38項目でA+Bの数値が90%以上の評価となった。特に「開かれた学校づくりの推進」についての評価が高かった。重点項目については11項目中8項目100%の評価となった。多くの取組でPDCAサイクルが確立され、修正を加えながら改善を図ることができた。
- (2) 児童アンケートでは、22項目中13項目で昨年度よりも評価が向上した。特に、「自分の考えを積極的に発表できる」の項目で顕著な伸びが見られた。今後も、授業の中で対話やディスカッションの機会を増やし、自分の考えを表現する力を育む取り組みを推進していく。
- (3) 学校関係者評価では、「学校教育目標の具現化」と「学習指導の充実」について高い評価であった。児童アンケートでも学習指導に関する項目は、高い評価となっている。今後もさらに指導の質を向上させ、児童の学力向上に努めていく。

2 今後の課題

- (1) 重点項目の「学習者用端末を活用した授業」及び「プログラミング的思考を高めるための授業改善」に課題がある。昨年度までの校内研究（プログラミング的思考を軸とした情報活用能力の育成）で得た効果的な指導法をしっかりと共有し、児童の主体的な学びを促す授業づくりに引き続き取り組んでいく必要がある。
- (2) 自己評価及び保護者アンケートから豊かな心の育成に関する項目に課題が見られた。思いやりや感謝の心を育む教育活動を進めるとともに、道徳の授業や人権学習を通じて、お互いを尊重する姿勢を育てていく必要がある。また、いじめの未然防止に向けて、子供たちの小さな変化にも目を配り、日常的に相談しやすい環境づくりに努めていく。

3 アンケートから

- (1) 80%を超えた項目
保護者アンケートでは、18項目中9項目で80%以上の評価であった。昨年度と比較して、1項目が80%を下回った。「家庭との連携」、「思いやりの育成」、「いじめの未然防止」に関する項目が昨年度より下回っているため、改善のための施策を考えていく。
児童アンケートでは、22項目中20項目で80%以上の評価であった。「外国語の授業」に関する項目が昨年度と比べ下回っている。特に高学年では、中学英語につなげるための難易度の高い授業に取り組み始めたためと思われる。
- (2) 昨年度より向上した項目
保護者アンケートでは、18項目中6項目が向上した。「学校の教育方針や取組に関する情報発信」について大きな向上が見られた。
児童アンケートでは、22項目中12項目が向上した。休み時間等、子供たちへの外遊びの奨励が課題である。
- (3) 身に付けさせたい力
保護者アンケートで、13項目の身に付けさせたい力を聞いた結果、昨年度と同様に「読み書き計算などの基礎的な学力」「コミュニケーション能力」「思いやり・やさしさ」の項目の割合が高かった。